

لِهِ مُنْتَهٰى الْمُرْسَلُونَ



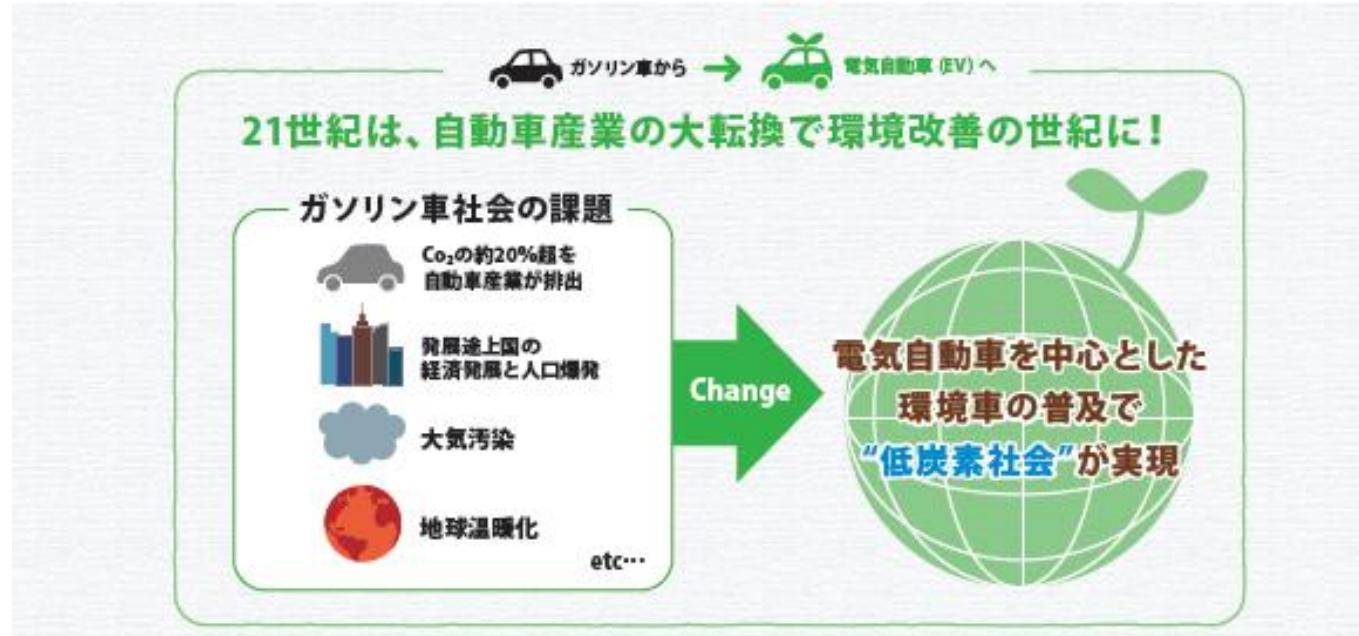
電気自動車普及協議会

活動のご紹介

2013年3月4日(月)
電気自動車普及協議会(APEV)
代表幹事 田嶋 伸博

2010年6月29日 電気自動車普及協議会 設立

地球環境の保全、持続可能な社会の実現



【当協議会が目指すこと】

- EV関連の事業や研究、普及活動を行う、
事業者・研究機関・各種団体のネットワーク化
- EVを受け入れる社会の成熟のための
EV普及活動のサポートや政策提言

業界の垣根を越えた、普及促進のためのつながる活動



- ◆正会員(企業会員) 合計164社
- ◆特別会員(自治体、研究機関、報道機関) 合計83団体
- ◆行政 国土交通省 関東運輸局自動車技術安全部
- ◆賛助会員(個人会員) 合計 108人

国内 …北は北海道から
南は九州まで

海外 …アジア、オセアニア
アメリカ
ヨーロッパ まで

幅広い地域から御参加頂いています

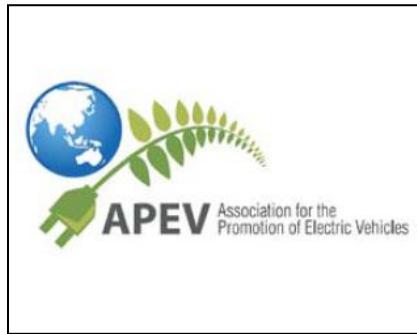
皆様も是非ご参加ください



海外でもAPEV活動スタート！

Association for the Promotion of Electric Vehicles

2011年10月
APEVニュージーランド発足



2012年4月
APEV台湾設立準備委員会発足



2012年9月
APEVドイツ設立準備委員会発足



今後も、世界各国にAPEV拠点を設立予定。隨時お知らせ致します。

会員特典メンバーサイト

APEV会員の情報交流のために、メンバーサイトをご用意しております。ぜひご活用ください。

企業・団体の場合は、1団体あたり3名様に、個人会員の場合は、お1人に1つ、IDとパスワードを発行します。

<http://www.apev.jp/sns/>



メンバーサイト内の一例

● 電気自動車関連主要海外ニュース

…ほぼデイリーで、海外のEV関係のニュース配信中。

● APEV 講演会や部会の開催のお知らせ

…現在ある5つの委員会の会合のお知らせ、各種展示会のご案内など

● 会員限定でご紹介する、EVコンバージョン教本や各種講演会など

…会員のみにパスワード付でお届けします。

未来のこどもたちに、美しい地球を残すために



会長
福武 総一郎
株式会社
ベネッセホールディングス
取締役会長



代表幹事
田嶋 伸博
株式会社
タジマモーターコーポレーション
代表取締役会長兼社長



幹事
藤原 洋
株式会社
ブロードバンドシワー
代表取締役会長兼社長CEO



幹事
草加 浩平
東京大学大学院
工学系研究科特任教授

アドバイザー

- 館内 端 (自動車研究家)
村沢 義久 (東京大学経営室アドバイザー)
鈴木 高宏 (長崎県産業労働部政策監 EV&ITS推進担当)
佐藤 員暢 (愛媛県産業技術研究所EV開発センター長)

顧問

- 星 久人 (株式会社ベネッセホールディングス特別顧問)

監査理事

- 木村 忠昭 (株式会社アドライト代表 公認会計士)



EV超小型モビリティ デザインコンテスト 企画



電気自動車普及協議会
Association for the Promotion of Electric Vehicles

- 当協議会の立場からEVの超小型モビリティ普及を推進したい
- 次世代を担う学生に、モノ作りの楽しさを体験してもらいたい
& 学生側からの主体的な提案を促したい

『EV超小型モビリティ デザインコンテスト』

- ・超小型モビリティの3次元デザイン (*注1) 案を募集、審査、発表する。
※注1：国交省の定める超小型モビリティ規格に適合した電気自動車（EV）の上屋（うわや）のデザイン
- ・単なる車のデザインだけではなく、
社会・街・地域の人々・文化等との関わりも含めた環境デザインを募集。
- ・「18歳以上の学生・原則2名以上」の**チームで応募**～アイデアを皆で広げ育てる環境を用意
- ・製作活動の進捗を**SNSを活用して共有**～製作プロセスも評価対象に
- ・2次審査においては、3次元デザインツールを提供
- ・2014年以降も当コンテストを継続開催し、**デザイン→設計→実車製作まで**を視野に

プロジェクト概要：組織



主催: 電気自動車普及協議会

後援: 経済産業省 (予定) *アイウエオ順

国土交通省 (予定)

東京大学大学院情報学環

ダッソー・システムズ



プロジェクト概要：審査員・賞品



【審査委員】

◆審査委員長

奥山 清行 様 (工業デザイナー, KEN OKUYAMA DESIGN 代表)

◆審査委員

安藤 忠雄 様 (建築家・東京大学名誉教授)

織作 峰子 様 (写真家・大阪芸術大学写真学科教授)

河口 洋一郎 様 (東京大学大学院 情報学環・学際情報学府教授)

藤本 彰 様 (元カースタイリング編集長)

田嶋 伸博 (電気自動車普及協議会 代表幹事)

【賞品】 * ユニークな賞品

* アイウエオ順

優秀作品となったチームに対して、

「電気自動車（EV）に関する特別な体験」を提供

例)

- ・著名なデザイナーとの交流機会
- ・ハワイなど海外の環境エネルギー関連展示会への招待&発表機会
- ・海外EV企業・団体訪問及び交流 等

【協賛予定】

株式会社ストラタシス・ジャパン
株式会社ベネッセホールディングス
株式会社ワコム
デル株式会社
日本ヒューレット・パッカード株式会社
レノボ・ジャパン
株式会社アスプロス

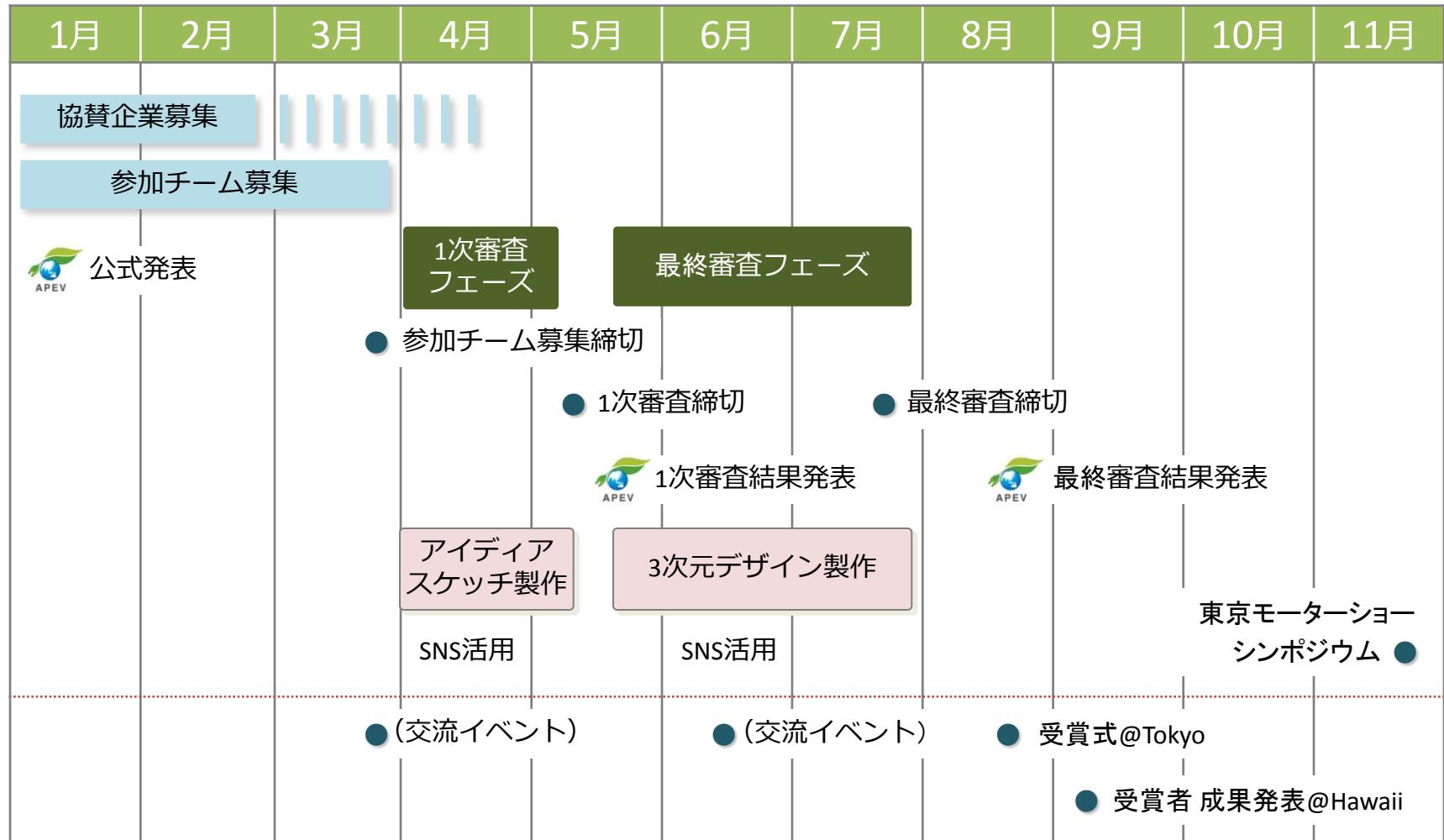
※協賛社を引き続き募集しています。

お問い合わせは、 contest@apev.jpまで。

【参加学生へのメリット】

- ・学生のコンセプトやデザイン提案力の養成
- ・学生のキャリア形成と社会に対するアピール
- ・学生のデジタルツールの活用スキル養成
- ・学生のデザインが商品化される可能性がある

コンテストの活動スケジュール



皆様のご支援・ご協力、よろしくお願ひいたします。



「移動」のイノベーション クルマ・まち・暮らしの新しい価値創出 セミナー

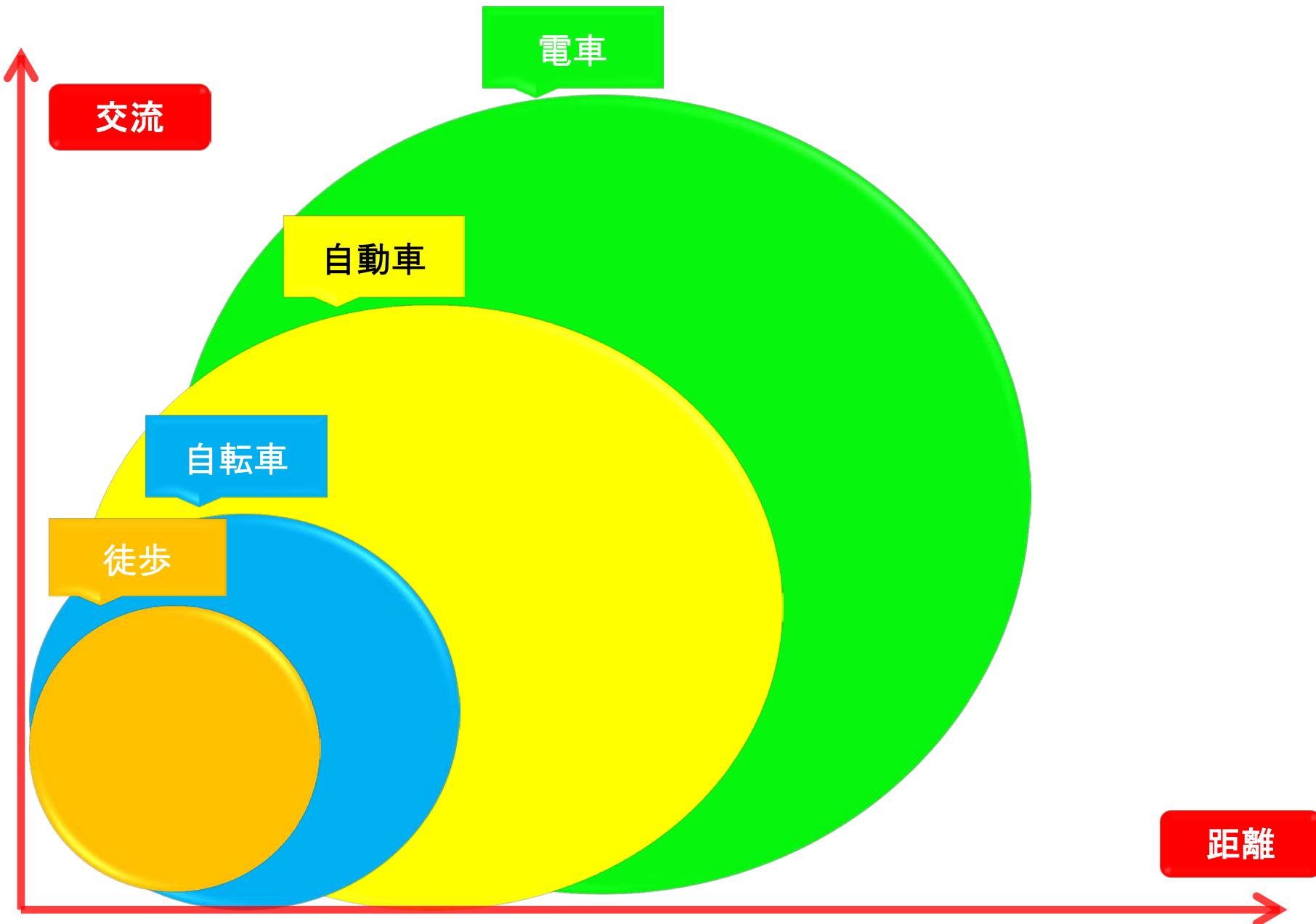
2013年3月4日

(株)JTBコーポレートセールス
営業推進本部 ソーシャルソリューション地域交流推進局

環境マーケット担当プロデューサー
黒岩 隆之



株式会社
JTBコーポレートセールス



■「旅チャリ」とは

JTBが観光振興、環境配慮、健康良化を目的として全国にリースしている「電動アシスト付自転車」です。旅先での観光に利用されたり生活やビジネスに活用されたりと、様々なシーンで活躍しています！

「旅チャリ」が
2009年エコプロダクツ大賞を受賞しました



第6回エコプロダクツ大賞
エコサービス部門 環境大臣賞受賞



■旅チャリの魅力

観光 に便利！

ちょっとした人との会話、あいや、素敵な風景をみつける喜びが旅の醍醐味。歩くよりも遠くへ行ける「旅チャリ」がぴったりです。

[「箱根」を地球にやさしい観光地に！ >>](#)



環境 に優しい！

走っても走っても、排ガスを出さないクリーンな移動手段「旅チャリ」。CO2の削減にも大きな役割を果たします。

[JTBは環境省の活動「smart move」に賛同、取り組んでいます >>](#)



健康 にいい！

足腰の負担も少なく誰でも乗りやすいのが電動アシスト付自転車「旅チャリ」。疲れ知らずでどこまでも乗れちゃうからいつの間にか運動量アップでカロリー消費！



観光客の回遊の利便性をあげて、交流範囲を拡大させる。
観光客からの経済的メリットを享受できる範囲を広げる。
狭義な意味での観光事業者のみが受益する仕組みを変える。

2012 東京港区 CITY BIKE
 2011 神戸
 2011~2013 広島
 2010 神戸
 2010 熊本
 2010 名古屋
 2010 さいたま市
 2009 東京

コミュニティサイクルのしくみ

コミュニティサイクルとは、環境にやさしく健康にも良い「自転車」を使った新しい公共交通システムです。歩道など公共空間を利用して、街のいたるところに自転車の貸出場所を配置し、事前登録をすれば誰でも料金で自由に利用することができます。海外では広く普及しており、環境対策のひとつとして日本でも今後の発展が期待されています。JTBでは、「旅チャリ」の仕組みを利用したコミュニティサイクルの全国普及に積極的に取り組んでいます。

- メリット**
1. 車やオートバイに依存せず、街をあげての地球温暖化対策になる
 2. 利用促進が健康増進につながる
 3. 公共スペースが有効活用できる
 4. 住民にとって便利で暮らしやすい街になる
 5. 地域により、広告収入が見込める



旅チャリの仕組みを活用した、都市コミュニティでの自転車のシェアリング事業

中・広域での2次交通としてのEV



EV（電気自動車）でつくる。全国に先駆け、クリーンでECOな観光地 EVモビリティ観光活性化事業

地球温暖化やエネルギー問題、様々な環境問題を背景に、クリーンで低炭素な社会を実現するEVへの注目度が高まりつつあります。

JTBでは、こうした社会の潮流をとらえ、新たにEVを活用したEVモビリティ観光活性化事業を開始。

環境に配慮した地域の観光地ブランドを確立、家族層や女性層を中心としたエコフレンドリーな旅行者の顧客強化につなげてまいります。
「世界で一番クリーンな国・日本」の実現に向けて、先行パートナーとなる地域の観光宿泊・レジャー施設様のご参加をお待ちしております。

貢献目標「3つの”E”こと」

- クリーンでECOな観光地ブランドの構築
- 2次交通の利便性向上で、地域内の回遊を促進
- 事業者様の毎月のコスト削減＆新サービスの提供

いち早く、EV旅行者に選ばれる施設

ボール型EV普通充電器を観光宿泊・レジャー施設様に導入いただくことで、EV旅行者の立場での選択肢が広がります。地域内での導入数が増えれば増えるほど利便性が上がり、EV旅行者の増加・回遊を期待できます。尚、会員カード（メニュー③）を合わせて導入いただくことで、旅行者に対して、有料の充電サービスを実現することが可能。

【参考】先行参加いただいたM旅館の場合の導入費用

項目	費用
基本費用	
本体価格	60万円
設置費用	45万円 *1
国からの補助金	▲30万円 *2
地方自治体から	▲18万円 *3
導入費用合計	57万円 *4

*1: 設置する施設の条件によって工事費が掛かります。
*2: 2013年2月現在までの国庫補助金の算出例を示します。
*3: 各自治体により、補助金額が異なります。
*4: 増入料は月々の「アーチ会員費」「旅費会員費」が掛かります。

充電サービスで課金収益＆会員用WEBから情報発信

JTBでは日本ユニシスと共に「おでかけカード」サービスを開始。カードを持つEV旅行者に対して、全国各地のカード対応充電スポット（メニュー②の検索）にて、各種サービスを提供可能です。また、会員用WEBを活用し、充電機器の設置場所や地域の情報を発信することも可能です。

充電サービス（課金） 会員用WEB（充電器の設置情報・特典付与等）



お問い合わせ先

03-5909-8061 / eco-odekake@bwt.jtb.jp

株式会社JTB法人 東京 葦薺進本部「EVモビリティ観光活性化チーム」
担当: 前田盛・黒岩・松橋・鶴・鶴石

①EVの導入



②EV 普通充電器 の設置



5つの メニュー

③EV充電器連動の 会員カード



④EVツーリズムで ECO旅行商品を 企画・開発

⑤PRサポート



採算性が期待できるEVを、安価に導入可能

観光宿泊・レジャー施設様は文面にEVを導入することが可能。旅行者への「ブリレンタルサービス（3～4時間程度）」として、新たな事業収益につなげていただくと共に、立会時間には業務用車としてご利用いただき、毎月の燃料費削減を図ります。

旅行者の“おとく”



必要な時間だけ
安価に借りられる!!

観光宿泊・レジャー施設様の“おとく”



業務用車
の効率化
EVなら燃費費が
ガソリン車の1/3以下

地域の魅力を再発見し、誘客促進

一定数のEV導入が見込める地域に関しては、JTBが中心となり、EVツーリズムをコンセプトとした新しい旅行商品企画・開発、地域の魅力 & クリーンなイメージを広く一般に伝え、顧客説IPを図ります。



旅行者及び地域住民にブランドイメージを普及啓発

JTBでは、参加地域や観光宿泊・レジャー施設様のPRにつながるニュース作りをサポート。イベントやマーケティングアップの企画・コーディネート等を実施し、自社媒体に掲載したり、プレスリリースとして外部メディアに発信。地域ブランドの普及啓発に努めます。

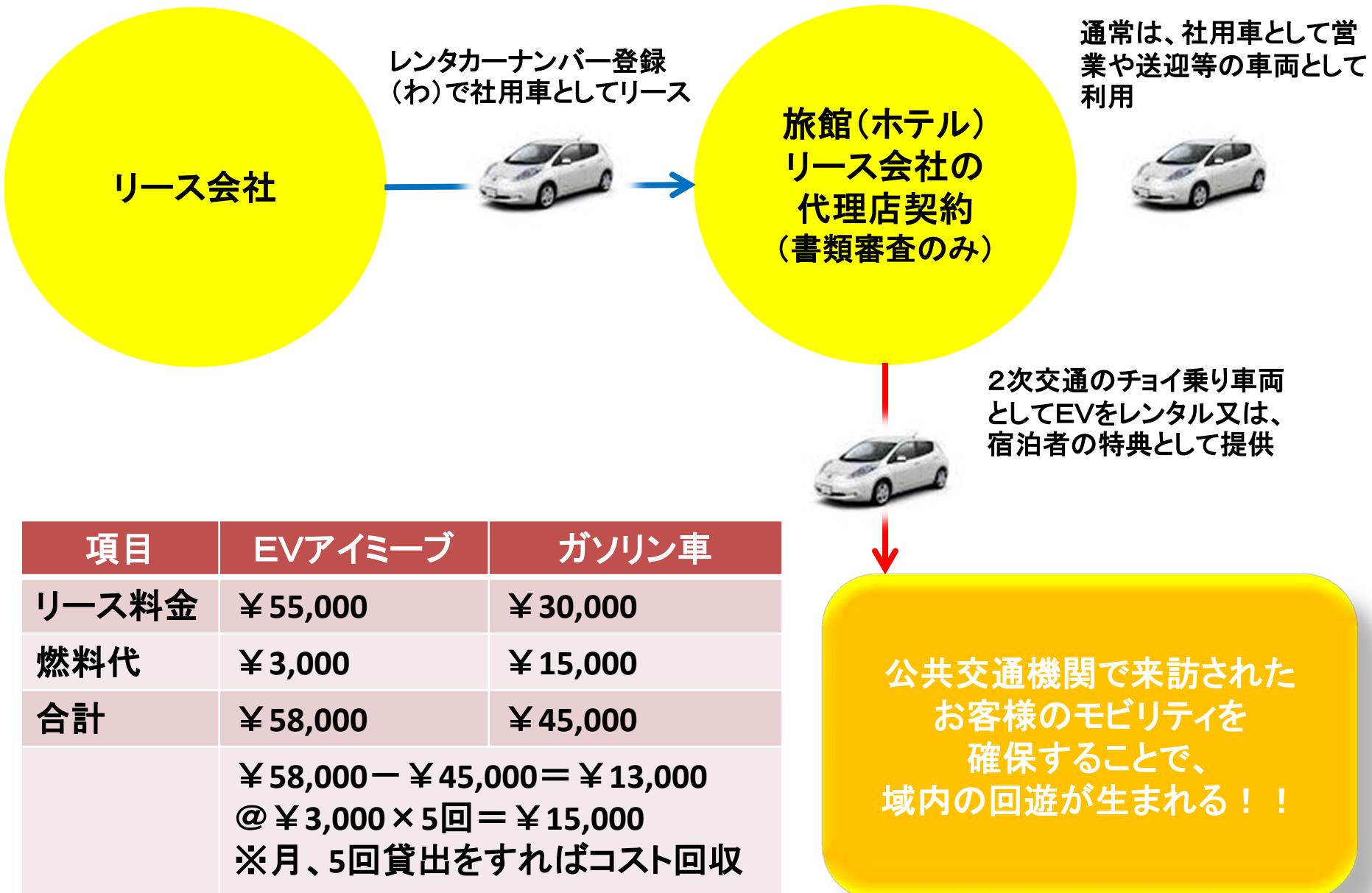
特別冊子 「EVまるぶ」



各種メディアに発信 (プレスリリース・ニュース提供)



中・広域での2次交通としてのEV



安価で、自由な時間設定でレンタル可能

バスより自由、タクシーよりお得！！

顧客メリット

施設メリット

ガソリン車→EV 環境配慮 CSR

2次交通の担保による顧客満足UP

地域

低炭素に貢献！！ 公共交通機関での来訪促進で交通渋滞の緩和！！

環境省地球温暖化対策技術開発・実証研究事業電動バイク普及促進に資するバッテリー交換ステーション事業化のための実証研究

④-KUNI つくろう鎌倉バイクプロジェクト

実施期間:2013年1月24日(木)~2013年12月(予定)

環境にやさしい 電動バイク普及の ためにできること!



プロジェクトの取り組み

クリーンな交通手段として期待される電動バイクの普及のため、
交換可能な充電済みのバッテリーが中に入っているロッカーセットを
町なかに配備し、バッテリーシェアリングサービスの実証実験を行います

① 交換用バッテリー運用システム
バッテリーの充電状況と
予約状況に応じた情報を管理し、
電動バイクユーザースマートフォンに
情報を発信するシステムを開発

② 利用関係者向け情報提供システム
電動バイクユーザーのスマートフォン向けに
バッテリーシェアリングの充電済み情報、
交換用バッテリーの取扱い、
到達可能なエリアを示すマッピングを行えるシステムを提供

③ バッテリー充電ロッカーシステム
市役所やガソリンスタンドに併設可能な
ロッカータイプのバッテリー交換装置を採用

この実験は、環境省地球温暖化対策技術開発・実証研究事業の支援を受けて実施しています。

実証実験についてのお問い合わせ
(実証実験事務局)
④-KUNI つくろう鎌倉バイクプロジェクト | ekunibike@gmail.com

④-KUNI つくろう鎌倉バイク
プロジェクトチーム

●株式会社JTBコーポレートセールス ●スズキ株式会社 ●パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社
●兼松コミュニケーションズ株式会社 ●株式会社リサイクルワン

バッテリー脱着型EVバイクのバッテリーシェアリング事業(実証実験)
鎌倉で実施中!!



事業内容

電気自動車2台、超小型車1台、
電動アシスト付き自転車5台のシェアリング施設を設置します。

- 期 刊／平成24年11月30日(金)～平成25年1月28日(日)

※期間中の金・土・日・月のみ実施

- 营业时间 9:00~12:00

●営業時間：9:00～17:00

貸出し・返却場所

step1 「道後温泉モビリティセンター」に電話かホームページにアクセスの上、「会員ID・パスワード」を入手すべし!

step2 WEB予約か電話予約を

お、ムベ、シにトクセスル、皆様達が「今更」ハスレーナ参
人力レバ強き魔を退けます。

Step3 モビリティセンターへ

step4 いざ、エコドライブへ!

返却時間までに所定

次回予告までに既存の会員登録に登録する。(→会員登録)

道後温泉駅前貸出・返却機器

三、利用透金

(5万円時 9,000~12,000)
セミナー料金は3500円から

空气自动車

200円/15分

電動アシスト付き自転車

150円/30分 60分以上は一律300円

超小型車 ROBOT

100/15分

四
卷之二

沿名温泉放牛牛(ほりこうじゅう) 様 道路沿い観光センター1F
〒790-0842 松山市沿名温泉6-8 ☎ 089-947-3035
営業時間: 平日24時間/土日祝11時~20時(全・休業25年2月28日) 9時~17時(期間
<http://www.setouchiinfo.com/mobile/service.aspx>

EV・PHVカー充電スタンドカード




▶ メニュー

すべて

- おでかけCard
- JTB eco情報
- 充電スタンド検索
- その他

ツイート 1
いいね! 24
返信 0
mixi チェック

ログイン
会員の方はこちらからログイン

会員登録
会員登録でもっとお得に便利に

スマートフォン対応
スマートフォンからも充電スタンド、満空情報がチェックできちゃいます

おでかけしよう! **充電スタンド**周辺の**観光スポット**もご紹介



充電スタンド検索



都道府県を選択

検索

SYMONS
EARNPOINTS
FOR YOUR
PURCHASES

おでかけCard
ポイントモール
サイモンズ・ポイントカード搭載!

詳しく見る



おでかけCard
の使い方
加盟店の充電器にタップしてガイドスクリーンを表示

詳しく見る

充電器情報配信や、充電課金等の充電に関するサービス提供のみならず、自転車、バッテリー、EV、超小型EV等の様々なモビリティを観光地(宿泊施設)から、レンタル出来る仕組みの構築を目指す。

目指す姿



これらの貸出、精算を おでかけCard で展開する。



EVは域外周遊広域 シェアリング

1993年 (株)日本交通公社入社、団体旅行新宿支店配属後、17年間、企業営業を担当(社員旅行、報奨旅行、視察旅行、イベント、販売促進 等)、2009年にエコポイント事業のJTB内の総責任者として、事業展開を行う。

2011年 (株)JTB法人東京 マーケティング部に配属、環境マーケットにおける国策に連動した、新たな事業領域の拡大と地域貢献(活性)を創造するプロデューサーに着任。

2011年12月に(株)日本ユニシスと協業で、EV・PHVユーザー向けの充電課金認証会員サービス事業を起ち上げ、普通充電器(目的地充電網)の販売・設置事業を開始。2012年10月15日より会員サービス事業も開始する。

同時に、EV・PHVを活用した、EVモビリティ観光活性事業も展開。

環境省の地球温暖化対策事業(技術開発事業)で、鎌倉でのEVバイクのバッテリーシェアリング実証事業、地域における市場メカニズムを活用した取組モデル事業で、観光アプリを活用した京都クレジットの流通メカニズム構築実証事業なども手掛ける。



(株)JTBコーポレートサービス
営業推進本部 SSB地域交流推進局
環境マーケット担当プロデューサー

黒岩 隆之